

Annual Report 2018

PHD

事業報告 **2018**
公益財団法人
PHD協会 2018.4 - 2019.3



事業報告 2018

公益財団法人
PHD協会 2018.4 - 2019.3



2018年度
PHD協会
事業報告

ネパール大地震被災者支援
研修
広報・啓発
組織運営

P.2
P.3-7
P.8-13
P.14-15

Annual Report 2018

理事長挨拶

理事長 水野 雄二

いつもPHD協会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。ここに2018年度事業報告をお届けいたします。2018年度もミャンマー、ネパール、インドネシアからの研修生を迎え、実りある一年を過ごすことができました。また、多くの皆様との交流の場を通して、私たちの生き方を問う機会が与えられましたことを、3月2日に開催された帰国報告会での研修生の報告を通して改めて感じることができました。この一年、研修生に対する皆様の温かいご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。

事務局報告

主任主事 坂西 卓郎

「元研修生との協働が深まった1年」
2018年度は「成果の具現化」を掲げ、帰国した研修生たちとの協働を深めました。インドネシアでは地域を巻き込んで大々的に実施した「健康コンテスト」、ネパールでは「大地震被災者支援」、ミャンマーでは「内戦被害者の孤児院支援」という形で結実することができました。
当会の主軸であります研修活動においてもネパールから初のダリット（被差別カースト）出身の研修生招聘を実現し、人権研修の実施、各地域での啓発活動を実施し、新聞報道等にも大き



2018年度に計画しましたことの全てが達成されたわけではありませんが、主要な研修事業を中心にミッションを果たす働きを進めることができました。また、財政課題や職員の働き方改革へのチャレンジも一歩を進めました。来る新しい時代に、より確固たる足跡を残すことができるように、その成果の継承を期待しています。
2019年度も新たな研修生、職員を迎え、使命の実現に向けてスタートしています。PHD協会の今後の働きに更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

く取り上げられた一年でした。36期研修生は帰国後すぐに活動を開始しており、今後の活躍がますます楽しみです。
また強力なパートナーでありますロータリークラブの皆様との協働も深まった一年でした。結果的に年間で約5,000人の方にお支えいただき、一年間を終えることができました。この場をお借りして皆様のご支援に感謝申し上げます。

PHD SAVE NEPAL

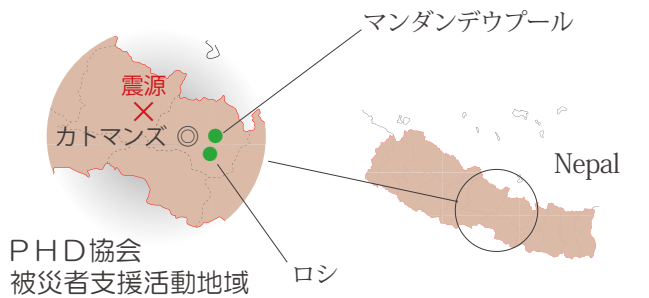
ネパール大地震被災者支援

2018 - 2019活動概要

PHD協会は2014年度研修生ムクさん、2015年度研修生カンチさんの活動費を支援し、現地NGOであるSAGUNとの協働の下、以下の活動を実施しました。

1. 山羊飼育による収入向上プロジェクト
2. 貧困世帯への奨学金プロジェクト
3. ECD（就学前教育）サポート
4. ロシ地域行政との協働によるアイキャンブ
5. 地域行政との連携、協働ミーティングの実施

2018年度PHD協会ネパール大地震被災者支援費内訳	
ネパールPHD研修生里親制度分	962,673円
研修費用	152,127円
その他、現地費用、管理費等	129,621円
合計	1,244,421円



1. 山羊飼育による収入向上プロジェクト

本活動は、ロシ地域で女性と最も恵まれない家族をエンパワーメントする最も重要な活動の一つです。93家族がこの活動の恩恵を受け、そのうち43家族はPHD協会からの支援、50家族は日本のNPO「地球の木」の支援を受けました。

山羊肥育状況一覧(単位 山羊の数:頭 収益額:ネパールルピー)				
グループ名	最初に支援した山羊の数	飼育により増加した山羊の数	山羊の合計数	売却後の収益額
ラジャバス村 山羊肥育グループ	15	18	33	145,000
バナンチェ村 山羊肥育グループ	26	27	53	96,000
ピンタリ村 山羊肥育グループ	11	15	26	40,000
ラムチェ村 山羊肥育グループ	10	26	36	59,000
タクレ村 山羊肥育グループ	26	37	63	112,500
コカム村 山羊肥育グループ	31	26	57	48,000
Thilwar 10家族新規グループ	-	-	-	-
合計	119	149	268	500,500

2. 貧困世帯への奨学金サポート

最も弱い立場にある子どもたちを対象としました。以前は女の子たちに焦点を当てていましたが、今年は貧しい家族からの2人の男の子を含めました。選ばれた子どもたちは以下の通りです。

2018-2019年に新しく選ばれた奨学生 (8名) Pushpa Kyapchhaki Magar, Relimaya Synagtan Tamang, Ganga Rayamajhi, Rakam RajLama, AyusMalli, Unika Lama Anju Malla, Sulochana Lama
就学中の奨学生 (8名) Saraswati Lama Thilwar, Srishti Lama Rajabas, Bisnimaya Tamang Karmdanda, Nijila Tamang Bohore, Samjhana Malla Machchhegaun, Sanju Tamang Bohare, Anish Pahari Kaldhunga, Kusum Tamang Bohare
卒業した奨学生 (8名) Iswori Tamang, Hiramaya Ghising, Rangita Lama, Saranga Shrestha, Rima Tamang, Chandika Acharya, Rajana Lama, Bimala Tamang

3. ECD（就学前教育）サポート

子どもの権利を確保するために、9つの学校とECDセンターに教育支援を実施しました。具体的には教材、遊具、本、カーペット、クッションなどの備品を提供し、低学年の生徒や幼い子どもたちにも適した学習環境を学校やECDセンターに整備しました。また、ECDの教師と校長のためにトレーニングを実施し、元PHD研修生のカンチさんは、これらの活動で中心的な役割を担いました。

4. ロシ地域行政との協働によるアイキャンブ（巡回眼科治療）

ロシ地域行政の委託を受けたNGO「SAGUN」とKirtipur眼科病院の共同で、ロシ地域の2か所でアイキャンブを開催しました。約974人の患者がアイキャンブで治療を受ける機会を得ました。そのうち197人が白内障の外科手術を受けました。年配の患者が手術後に目を開いたとき、関係者は本当に興奮し、幸せを共有することができ、誇りに感じています。この活動はPHD協会が支援するスタッフであるムクさんの活躍なしには実現不可能でした。

【成果・実績】

- A. 山羊の飼育効果は小さいように見えるかも知れませんが、左の表の通り山羊は2倍以上に増えています。93家族がこの活動に参加しており、これが地域社会における相互扶助を創り出し、強固にしていくことに貢献しています。
- B. メンバーはローンを返済できたことに誇りを感じています。約78%がローンを返済しました。よって22%はローン返済が残っていますが、資金を循環させるという点では順調に実施できています。私たちはヤギの飼育、奨学金および他のプロジェクト活動によって地域の人たちの幸せを見ることができています。
- C. 私たちは他の関係者やサービス提供者を本プロジェクトでつなぐことができています。この輪は現在も拡大中です。

2018年度PHD研修生の活動を報告します。

第36期研修生

インドネシア、ネパール、ミャンマーから女性3名を招聘しました。インドネシアからは、カユジャングイ村4人目の研修生、レニさんを招聘しました。村ではむし歯のある人が多いこと、洋服作りをできる人が少ないことから、保健衛生、洋裁、保育などを学びました。帰国後は主に子どものむし歯や歯周病予防、村人のための洋服作りに取り組みたいと考えています。ネパールからは、カーストにおける被差別階層「ダリット」のサピナさんを招聘しました。彼女の家族は農業をしており、日本では人権、有機農業、保健衛生を中心に学びました。サピナさんが所属する母親グループへの識字教育、有機農業の実践、子どもたちへの歯磨き指導などに取り組みたいです。ミャンマーからは、孤児院で働くサンダーモーさんを招聘しました。彼女は、子どもたちの食事や洗濯などの世話に加え、勉強も教えています。日本では保育園から中学校までの教育を学び、児童養護施設や保健センターなどで研修を受けました。教材を使った教育、栄養バランスのとれた食事やむし歯予防に関心を持ち、帰国後の活動につなげたいと考えています。

レニ グスティカさん

(インドネシア・22歳)

研修テーマ：保健衛生、洋裁、保育

推薦団体：財団法人PHDインドネシア



高木さん(右)より、洋裁の指導を受ける、レニさん(左)

サピナ・ビスンケ・ラムテルさん

(ネパール・20歳)

研修テーマ：保健衛生、農業、人権

推薦団体：現地提携NGO SSS



調理実習で栄養について学ぶサピナさん(丹南健康福祉センター)

4月～3月 滞在／宝田和正さん、てるみさん／神戸市垂水区

6月 保育／友愛幼稚園／神戸市中央区

洋裁／高木育代／神戸市西区

初等教育／阿弥陀小学校／高砂市

7月 保育／たいようこども園／養父市

8月 保育／はらっぱ保育所／西宮市

9月 保健衛生／栄養／松江市健康部・子育て部／松江市

10月 ハンディーキャップケア／ステップハウス／高砂市

洋裁／高木育代／神戸市西区

口腔衛生／とくなが小児歯科クリニックレオ／川西市

11月 保健、栄養、人権／三木市総合保健福祉センター／三木市

4月～3月 滞在／金子晃司さん、洋子さん

6月 保育／のぞみ保育園／神戸市須磨区

野菜栽培、有機農業／渋谷富喜男／神戸市西区

7月 野菜栽培、有機農業／円谷豊子／丹波篠山市

野菜栽培、有機農業／のりたま農園／丹波篠山市

野菜栽培、有機農業／あぐる農園／丹波篠山市

学童保育／伊保南学童保育所／高砂市

8月 ハンディーキャップケア／ステップハウス／高砂市

保健、栄養、介護／丹南健康福祉センター／丹波篠山市

9月 保育／はらっぱ保育所／西宮市

10月 人権／ひょうご部落解放・人権研究所、部落解放同盟兵庫県連合会／神戸市中央区

11月 人権、フィールドワーク／部落解放同盟伊丹支部／伊丹市

12月 保健、栄養、人権／三木市総合保健福祉センター／三木市

人権／徳島黒地児童館／徳島市

保育／わくわく保育園／尼崎市

識字教育／ひょうご部落解放・人権研究所、湊川高等学校／神戸市中央区・長田区

サンダーモーさん

(ミャンマー・30歳)

研修テーマ：教育、保育、保健衛生

推薦団体：PHDミャンマー



子どもと遊ぶサンダーモーさん(友愛幼稚園にて)

4月～3月 滞在／黒野美代子さん／神戸市垂水区

6月 保育／はらっぱ保育所／西宮市

初等教育／阿弥陀小学校／高砂市

7月 初等教育／椋山小学校／名古屋市千種区

学童保育／伊保南学童保育園／高砂市

8月 児童養護／神戸真生塾／神戸市中央区

保育／友愛幼稚園／神戸市中央区

9月 保育／杉の子保育園／神戸市中央区

初等教育／阿弥陀小学校／高砂市

10月 口腔衛生／とくなが小児歯科クリニックレオ／川西市

11月 保健、栄養、人権／三木市総合保健福祉センター／三木市

12月 ハンディーキャップケア／ステップハウス／高砂市

中等教育／井吹台中学校／神戸市西区

2019年 2月 識字教育／ひょうご部落解放・人権研究所、湊川高等学校／神戸市中央区・長田区

共通研修

4月～5月 日本語研修／神戸YMCA学院専門学校／神戸市中央区

日本語研修／PHD協会・日本語ボランティア／神戸市中央区

4月 口腔衛生研修①／浜地律知さん、PHD協会高藤真理／神戸市中央区

5月 口腔衛生研修②／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

10月 口腔衛生研修③／浜地律知さん、PHD協会高藤真理／神戸市中央区

防災研修①／SEEDS Asia／神戸市東灘区

11月 協同組合研修①／生活協同組合コープこうべ食品工場／神戸市東灘区

協同組合研修②／生活協同組合コープこうべ協同学苑／三木市

口腔衛生研修④／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

防災研修②／Future Code／神戸市中央区

防災研修③／まち・コミュニケーション／神戸市長田区

防災研修④／アジア眼科医療協力会／西宮市

防災研修⑤／被災地NGO協働センター／神戸市長田区

防災研修⑥／CODE海外災害援助市民センター／神戸市兵庫区

防災研修⑦／プラスアーツ／神戸市中央区

12月 口腔衛生研修⑤／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

口腔衛生研修⑥／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

防災研修⑧／人と防災未来センター、PHD協会高藤真理／神戸市中央区

防災研修⑨／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

防災研修⑩／エフエムわいわい／神戸市長田区

防災研修⑪／多言語センターFACIL／神戸市長田区

防災研修⑫／PHD協会高藤真理／神戸市中央区

2019年 1月 社会学習／釜ヶ崎の歴史や現状／旅路の里／大阪市西成区

住民組織化研修・行動計画作り／PHD協会／神戸市中央区

2月 社会学習・残留農薬被害／淡路島モンキーセンター／洲本市

果樹栽培／山口勝弘さん／南あわじ市

3月 口腔衛生研修⑦／浜地歯科医院／神戸市長田区

口腔衛生研修⑧／浜地歯科医院／神戸市長田区



来日直後、6週間の日本語研修(神戸YMCA学院専門学校)



炊き出しに参加する、レニさん(左：釜ヶ崎あいりん地区)

兵庫県内研修報告会

加東市連合婦人会／兵庫県加東市

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を省略させていただきました。

2018年度研修旅行

東日本研修旅行 2018年10月23日～29日

東京都／全日本自動車産業労働組合総連合会、ユニセフハウス、ロータリー米山記念奨学会、日本労働組合総連合会、勝楽寺

山梨県／山梨英和中学校（YWCAひまわりクラブ）、山梨YMCAグループ
長野県／塩尻めぐみ幼稚園

神奈川県／青空自主保育なかよし会、山崎谷戸の会

岐阜県／国際ソロプチミストかかみ野、日本キリスト教団中濃教会

愛知県／椋山小学校、トヨタ自動車労働組合、想念寺、小牧幼稚園

西日本研修旅行 2019年1月12日～25日

鹿児島県／かごしま有機生産組合、出水高等学校、だるま保育園、
蔵島小学校

熊本県／水俣病センター相思社、エコネット水俣、ほっとはうす、
ガイアみなまた、菊池恵楓園、熊本市国際交流振興事業団

福岡県／北九州市交流会（旭ヶ丘会館）、北九州市立祝町小学校、
到津の森公園、世界平和パゴダ、アジアを考える会北九州、環境ミュージアム

山口県／梅光学院高等学校・中学校、岩国みなみワイズメンズクラブ、
岩国YMCA国際医療福祉専門学校

広島県／広島平和記念資料館、共生庵、みらさか小学校、三次市交流会（
灰塚コミュニティーセンター）、みのり保育所

岡山県／YMCAせとうち、岡山キリスト災害支援質

兵庫県／姫路YMCAアフタースクール太子クラブ

<敬称略>

アクションプラン（活動計画）

個別研修と共通研修で得た様々な学びと気づきを、帰国後どのようにして活かすのか？まずはそれぞれの村や地域が抱えている「課題」、その「原因」、そしてその課題から生じる「問題」について考えました。次の図はそれを視覚化したものです。この図を基にして課題に対する「アクションプラン（活動計画）」を作成しました。この一連の作業は、今後研修生たちが住民と共に新たな活動を始める時にも活用できます。



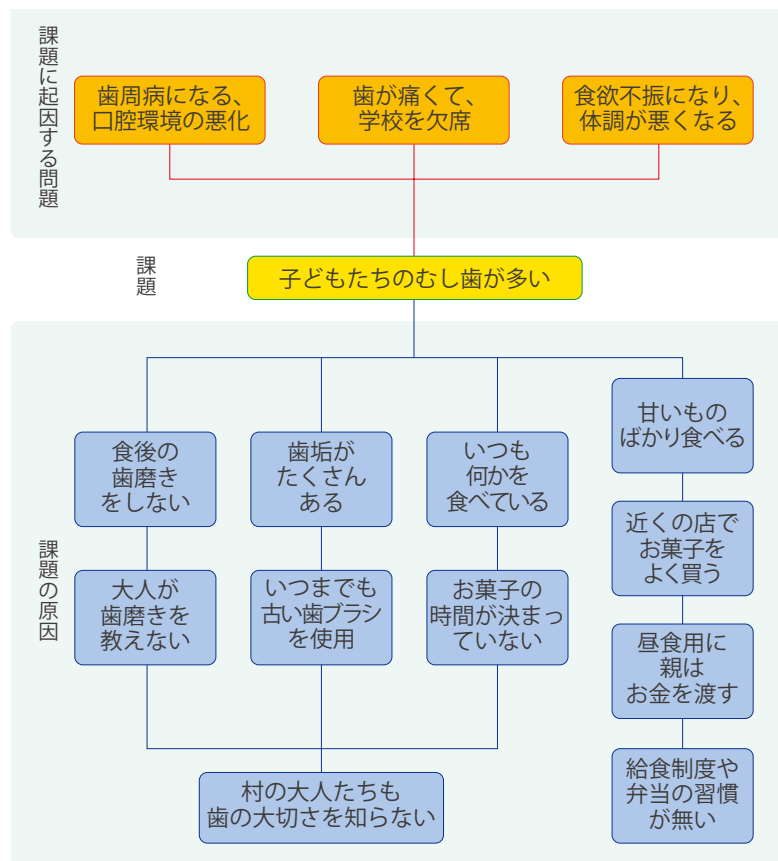
レニさんのアクションプラン



「子どもたちの虫歯をなくしたい」

レニさんの村の課題は食後に歯磨きをしないことにより虫歯のある人が多いこととレニさんは考えています。彼女自身も村では「朝起きて、歯を磨いてから朝ご飯を食べる。夜は水浴びの時に歯を磨き、その後で晩ご飯を食べる」という習慣でした。レニさんの計画は「村の子どもやお母さんたちに口腔衛生について教える」です。村では月に1回行われるボシアンドゥと呼ばれる母子保健プログラムがあります。そこでお母さんと子どもたちに歯の大切さや歯磨きについて教えます。また、村の幼稚園の子どもたちとレニさんがアラビア語を教えている子どもたちにも教えたいと考えています。

カウジャングイ村の問題系図



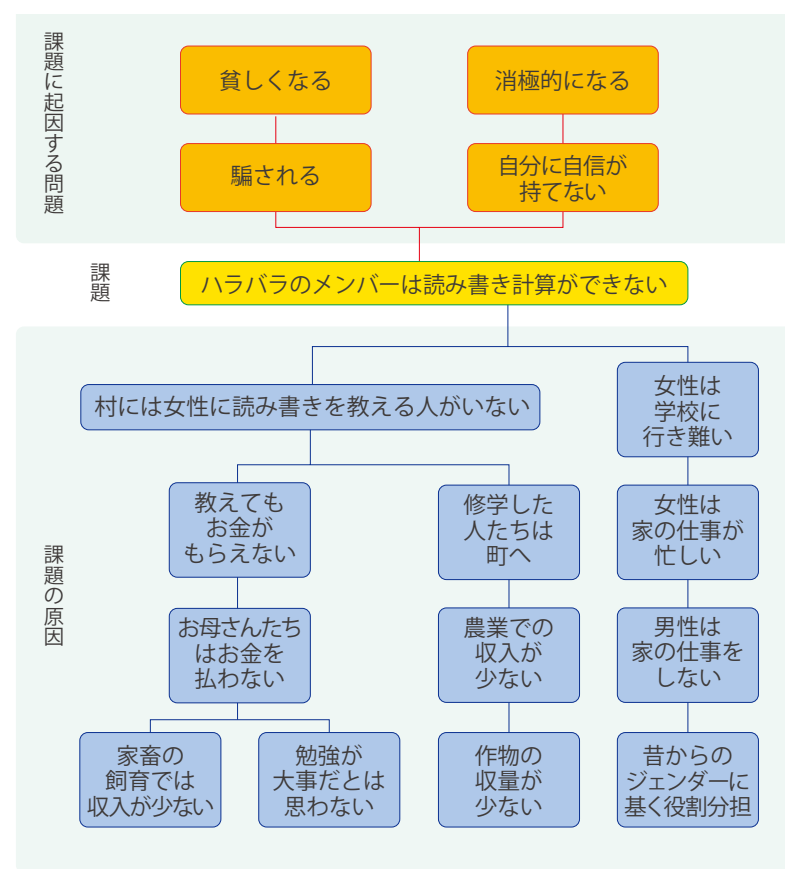
サビナさんのアクションプラン



「女性たちに読み書きを教えたい」

サビナさんは「ハラバラ」というお母さんグループに属しています。彼女が考えるハラバラの課題は、ネパール語の識字率が低いこと。読み書きができるのは38人のメンバーのうち、サビナさんを含めてわずか3人です。お金の管理ができない、自分で勉強することができないなどの課題が生じています。そこで、サビナさんは週1回2時間お母さんたちに識字教育を行うという計画を立てました。将来はハラバラの全てのお母さんたちが読み書きできるようになり、自分で勉強をすることができ、自信を持って自分の考えで行動できるようになったらと考えています。

ハラバラのメンバーの問題系図



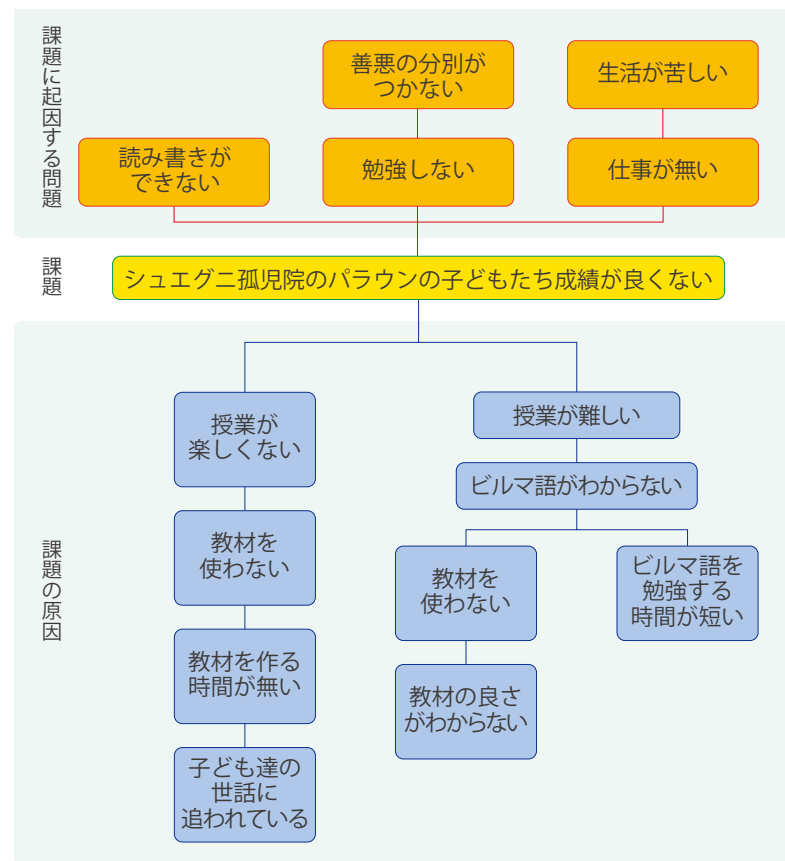
サンダーモーさんのアクションプラン



「教材を使ってビルマ語を教えたい」

モーモーさんが暮らしているシュエグニ孤児院の子どもたちが抱える課題は、勉強があまりできないこと。子どもたちのほとんどがパラウンという民族で、特に小さい子どもたちはビルマ語が分かりません。しかしシュエグニでの授業はビルマ語で行われるため、ビルマ語はもちろん他の教科の勉強も難しい状況です。まずは、小さな子どもたちが楽しく学べるように、教材を使ってビルマ語を教えるという計画を立てました。ビルマ語の次は、他の教科も教材を使って教え、子どもたちが楽しく勉強できるようになり、高校等への進学をして、暮らしが良くなることを願って活動します。

シュエグニ孤児院の問題系図



短期研修生

篠山ロータリークラブ様の55周年記念事業として、インドネシア 西スマトラ州タランバブンゴ地区から、元研修生の3名を短期研修生として迎えていただきました。2018年5月8日から28日まで滞在し、「祝福の牛（貧困層への肥育用牛の貸与）」事業報告及び、農業を中心に研修をしました。



ダスウィルさん
48歳 17期 99年度



マスラルさん
43歳 23期 05年度



リンダ エルニタさん
25歳 34期 16年度

選考・フォローアップ・調査

ネパールでは、カブレパランチョーク郡において、ダリット（カースト制において最下層とされる被差別階層）の女性の生活状況についての調査を行うとともに、2015年に発生した地震からの復興状況を調査しました。ミャンマーではマンダレー近郊の村、市内のスラム、戦災孤児の暮らす孤児院で住民の生活状況を調査しました。インドネシアでは医師の同行のもと、西スマトラ州タランバブンゴ地区の女性を対象に健康コンテストを実施、生活習慣病予防を訴え、住民の健康状態の調査を行いました。これらの調査結果は今後の研修生選考や現地への支援に活かされます。訪問した4カ国（ネパール、ミャンマー、インドネシア、タイ）において帰国研修生のフォローアップを行いました。また、37期生の選考は、ネパール、インドネシア、ミャンマーで実施しました。

訪問国	日 程
ネパール	2018/7/27 ～ 8/4
ミャンマー	2018/8/20 ～ 8/29
インドネシア	2018/9/8 ～ 9/16
インドネシア	2018/10/11 ～ 10/15
ネパール	2018/11/22 ～ 11/29
タイ	2019/2/18 ～ 2/27



上写真/ダリットの女性たちに当会のネパールでの活動を語る。右33期研修生カンチさん、中央35期研修生ミスラさん

右写真/西スマトラ州タランバブンゴの保健施設で住民の診察をする喜多野医師（中央）、右は20期研修生タルミアティスさん（インドネシア）



第37期研修生の選考と結果

引き続きネパール、ミャンマー、インドネシアの3カ国で第37期研修生の選考を実施しました。2019年度も3名が研修生として来日することとなりました。

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	タラタジャラン村：2名
選考結果	 プットリ ダリアさん (22歳)

ネパール・カブレパランチョーク郡

応募者の出身村と人数	ジトゥルボカリ村：6名
選考結果	 スシラ・バセル・サルキさん (22歳)

ミャンマー・マンダレー県

応募者の出身村と人数	トートウイン村：1名
選考結果	 ゼンモーエーさん (24歳)

広報・啓発

PHD協会が行った2018年度の広報・啓発活動を報告します。

メディア活動

PHDの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

会報・パンフレット等： PHD LETTER（138、139、140号）、研修生活動紹介チラシ、事業報告書

SNS：Facebook、Instagram、Twitter

新聞：神戸新聞（2018年6月3日、9月15日、2019年2月3日、3月3日）、中外日報（2018年9月26日、10月31日）、徳島新聞（2019年1月20日）

他団体会報等：きょうどう 第1099号、第1100号、Studies in ESD Practices、国際人権ひろば第141号

他団体HP・メールニュース等：JANIC、JICA Partner、関西NGO協議会、IDJ国際協力ジャーナル、日本財団 Canpan、NGOネットワークジャパン、ボランティアプラットフォーム、ESDツアープログラム <敬称略>

SNSフォロワー数（単位：アカウント）	2019年3月31日現在
Facebook（いいね）	1,401
Instagram（フォロワー）	900
Twitter（フォロワー）	410

講演・交流会

2018年度も各地での講演・交流会には、研修生と一緒に出向き、約4,400名がPHDの講演・交流会に参加いただきました。

<講演・交流先>

愛知県／名古屋大須ロータリークラブ、星城中学校

奈良県／奈良育英西中学校・高等学校

大阪府／大阪女学院大学・短期大学、香里ヌヴェール学院、渋谷高等学校

兵庫県／甲南女子大学、神戸学院大学、神戸市シルバーカレッジ、阿弥陀小学校、加東市連合婦人会、ガールスカウト兵庫県第24団、阪神シニアカレッジ、三木ロータリークラブ、加古川ロータリークラブ、加古川平成ロータリークラブ、福知山淑徳高等学校、関西学院大学、のぞみ保育園、国際高等学校、明石城西高等学校、神戸親和女子大学、関西学院高等部、学習小学校、志筑小学校、阿万小学校、神戸ポートワイズメンズクラブ、伊丹市人権啓発センター、性暴力被害者支援センター・ひょうご、尼崎西ロータリー

クラブ、但馬農業高等学校

香川県／ロータリー JAPAN LYRA セミナー

徳島県／小松島チャペル、徳島大学

（東日本・西日本研修旅行で講演・交流会の記載は本項では除く）<敬称略>

講演・交流会等の参加者数(単位:人)	
研修生来日報告会	46
研修生帰国報告会	58
交流会	1,041
東日本研修旅行交流会	287
西日本研修旅行交流会	805
講義・講演	2,158
合計	4,395

スタディツアー

2018年度はネパール及び、大阪女学院大学と共同でミャンマーとタイへのスタディツアーを実施しました。

訪問国	期間	参加・同行者数
ネパール	2018/7/27 ～ 8/4	1人
ミャンマー	2018/8/20 ～ 8/29	9人
タイ	2019/2/18 ～ 2/27	12人



カレン民族の村で、手織りを体験するタイスタディツアー参加者

第21期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2018年度は国内研修生を2名受け入れました。

清水 悠加さん
(22歳:広報・啓発担当)

研修期間：2018年4月1日～2019年3月31日

研修先：関西NGO協議会総会、はらっぱ保育園

園、YWCA保育園、SDGs計画作り実践研修、国際交流基金地球市民賞フォローアップイベント、チームひょうごネパール報告会、阿弥陀小学校、神戸真生塾、インドネシア出張、インドネシア小学校日本語ボランティア派遣、東日本研修旅行、防災研修、国際高等学校、住民組織化・行動計画作り研修、釜ヶ崎研修、西日本研修旅行、淡路島研修



<敬称略>

遠藤 響子さん
(21歳:研修担当)

研修期間：2018年4月1日～2019年3月31日

研修先：はらっぱ保育園、SDGs計画作り実

践研修、国際交流基金地球市民賞フォローアップイベント、阿弥陀小学校、神戸真生塾、ミャンマーツアー、東日本研修旅行、コープこうべ協同学苑・食品工場、防災研修、住民組織化・行動計画作り研修、ワンワールドフェスティバル for Youth、釜ヶ崎研修、西日本研修旅行



<敬称略>

ボランティアとの協働

PHDの活動に、一年を通してのべ500名近くの方がボランティアとして関わって下さいました。神戸市シルバーカレッジ国際交流友の会をはじめとして、多くの方が今年も切手整理、日本語補習、会報発送作業に参加していただきました。

ボランティア参加者数 (単位：人)	
事務作業補助・収集物整理等	304
日本語復習	119
会報発送作業	60
翻訳	2
ソディ例会	8
通訳	6
合計	499

インターンと学生等の受け入れ

外務省主催、公益社団法人青年海外協力協会運営のNGO若手人材育成を目的とした「NGOインターン・プログラム」の受入団体に選定されました。対象インターンとして、酒井萌乃さんが一年間PHD協会の活動に参加しました。



酒井 萌乃さん
(24歳:総務・研修担当)

平成30年度外務省委嘱NGO相談員

国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGOが外務省の委嘱で「NGO相談員」となり、NGOの国際協力活動、NGOの設立、組織の管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会に答える事業を受託しました。国際協力への理解促進のため、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」を実施しました。

平成30年度NGO相談員実績	
相談件数	629件
出張サービス	32件 兵庫17件、大阪7件、徳島2件 鹿児島2件、奈良1件、東京1件 愛知1件、熊本1件

啓発事業促進物の販売

タイ・カレンの手織り布製品とネパールの手編み毛糸製品等を、研修旅行先での交流会と県内のバザー等で販売しました。

<販売・委託・出店先>

東京都／ロータリー米山記念奨学会

神奈川県／青空自主保育なかよし会、山崎谷戸の会

山梨県／オリゾンチス(委託)、山梨YMCAグループ

岐阜県／中濃教会、国際ソロプチミストかかみ野

愛知県／小牧幼稚園 京都府／福知山淑徳高等学校

大阪府／ワンワールドフェスティバル、ワンワールドフェスティバルfor Youth

兵庫県／神戸市シルバーカレッジ ジョイラックデー(2回)・学園祭、第15回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、国際ロータリー第2680地区大会、国際ソロプチミスト姫路西チャリティバザー、国際ソロプチミスト神戸チャリティバザー、第36期研修生帰国報告会、加東市連合婦人会、神戸YMCA秋祭り

山口県／梅光学院中学校・高等学校、岩国みなみワイズメンズクラブ 広島県／共生庵、三次市交流会(灰塚コミュニティセンター)

福岡県／北九州市祝町交流会 鹿児島県／かごしま有機生産組合「地球畑」(委託)、蔵島交流会、だるま保育園

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

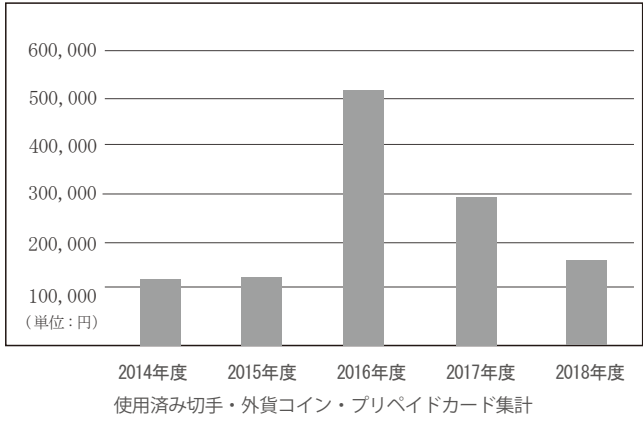
<共催・参加イベントなど>

NGO/JICA協議会、アーユス春合宿、HYOGON Meet up、ロータリー地区研修協議会、篠山ロータリークラブ55周年記念式典、国際交流基金会議、JICA関西NGO等向け事業マネジメント研修(基礎編・応用編)、ライスバレーAC20周年記念式典、NGO相談員近畿ブロック会議、SDGsをチャンスに変える他セクター連携方針/計画づくり実践研修、市民活動センター神戸総会、はらっぱ総会、反差別草の根交流の会サマタ総会、NGO相談員連絡会議、NGOスティツアー合同説明会、HYOGON総会、国際交流基金地球市民賞フォローアップイベント、チームひょうご・ネパール地震被災地支援報告会、ESD拡大運営委員会、CSネットワークフォーラム神戸開催会議、HYOGON Meet up、民間助成制度説明会、第15回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー、第3回ESD実践研究集会、神戸須磨ロータリークラブ55周年事業、ひょうご五国ワールドフェスタ、ぐるっとワールドin Miki、わたしたちの難民問題、伊丹ロータリークラブサンクスギビングデイ、京都北ローターアクトクラブ例会、

書き損じハガキ等の収集

2018年度はご協力いただいた収集物の換金・相当額は90万円を超えました。

収集物の相当額・換金額集計 (単位：円)	
書き損じ及び未使用ハガキ	232,049
未使用切手	541,432
外貨コイン・使用済み切手	96,900
未使用テレホンカード	64,500
合計	934,881



シンポジウム「神戸と難民」、ESD修学旅行東北学院高等学校交流会、神戸YMCA国際協力募金、SDGs day、ブータン青年海外協力隊30周年記念式典、ワンワールドフェスティバルfor youth、HYOGON賀詞交歓会、休眠預金がやってくる、近畿ESDフォーラム、熊本市国際交流振興財団、リレー報告会「ネパール地震被災地区への復興支援をふりかえる」、JOCAキャリア形成セミナー、ワンワールドフェスティバル、NGO支援制度説明会、神戸市地球環境市民会議、NPO法20年全県フォーラム、休眠預金成果勉強会、HYOGON運営委員会、ひょうご市民活動協議会運営委員会合宿、国際ロータリー第2680地区大会、川西ロータリークラブ55周年事業

<運営>

多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー(運営委員)、神戸NGO協議会(運営委員)、神戸YMCA国際委員会(委員)、大阪YMCA(評議員)、ESD修学旅行ワーキンググループ神戸国際交流フェア(実行委員)、兵庫県ユニセフ協会(評議員)、コープともしびボランティア振興財団(理事)、神戸市地球市民会議(委員)、ワンワールドフェスティバル for Youth(運営委員会監事)、認定NPO法人アイキャン(監事)



右写真/2018年11月3日、4日ひょうご五国ワールドフェスタにて、PHD協会ブース前にて、2018年度研修生の3人。



2018年6月9日 JICA東京主催イベント「SDGsをチャンスに変える他セクター連携方針/計画づくり実践研修」開催に協力しました。

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会員、法人会員を含めて958人となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援を得るため、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数 (目標)	新規会員数 (実績)	2018年度末現在の 会員数
終身維持会員	3人	4人	197人
PHD 会員	20人	9人	532人
友の会会員	15人	26人	226人
法人会員		1団体	3団体
合 計	38	40	958



国際ソロプチミスト神戸 様



生活協同組合コープこうべ 様

法人会員の団体様



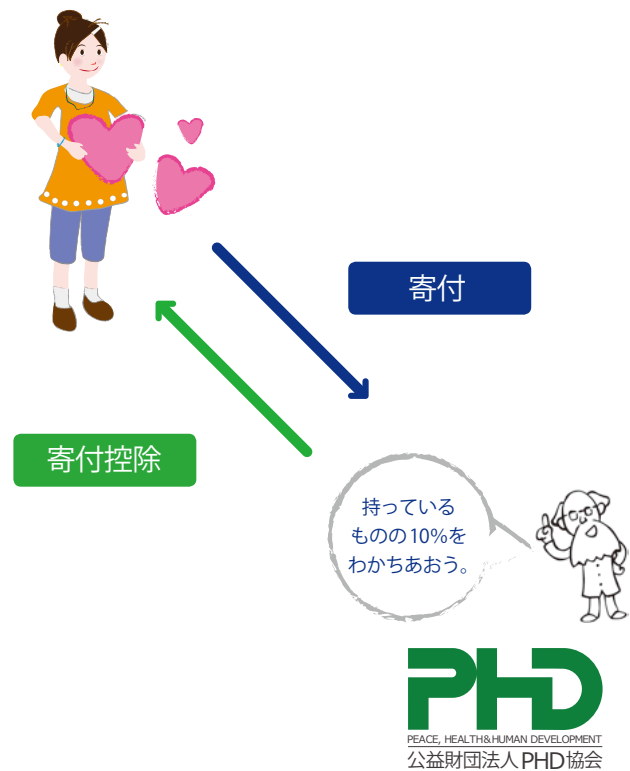
(特活) アーユス仏教国際協力ネットワーク 様

2018年度 会費納入者名簿 (2019.3.31 まで)

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

個人情報保護のため
氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

失礼ながら皆さまのお名前につきまして、
敬称を省略させていただきました。



PHD へのご寄附及び会費は、免税・減税の対象となります

PHDへのご寄附及び会費は、税額控除もしくは所得控除の適応を受けることができます。

＜例えば20,000円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合
(20,000円－2,000円)×40%＝7,200円*¹が還付されます。
*¹ 所得税額の25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合
20,000円*²－2000円＝18,000円が所得金額から引かれます。
*² 所得金額の40%を限度とします。

詳しくは国税庁のホームページをご覧ください。

PHD 会員制度のご案内

PHD運動は会員の皆様によって支えられ、すすめられています。継続したご支援をよろしくお願いいたします。

PHD終身維持会員	1口	10万円（任意の口数）
PHD会員	年額1口	5千円（任意の口数）
PHD友の会会員	年額	千円以上（任意の額）
PHD法人会員	年額1口	2万円、3万円、 5万円、10万円 （上記金額より任意の口数）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、年度事業報告をお届けします。

会費のお振込みはこちらにお願いいたします。

◆ゆうちょ銀行	◆三井住友銀行
口座番号：01110-6-29688	神戸営業部（500）
口座名：公益財団法人PHD協会	口座番号：普通3210568
	口座名：公益財団法人PHD協会

オンライン（クレジットカード）で会費のお支払い



PHD 協会では、オンラインで会費のお支払いができます。方法は簡単、お手元のスマートフォンを使って下記のQRコードから、もしくはURLを入力して「会員：クレジットカード決済ページ」にアクセスしてください。あとはお客様情報と決済金額を入力、決済画面から会費をお支払いいただけます。また、同様に「寄付：クレジットカード決済ページ」はオンラインでご寄付できます。



クレジットカード・
オンライン会費ページ
https://congrant.com/credit/form?project_id=587



クレジットカード・
オンライン寄付ページ
https://congrant.com/credit/form?project_id=586

PHD協会のクレジットカード・オンライン決済ページはリタワークス株式会社のクラウドサービス「Congrant」を利用しています。

2018年度のPHD協会の運営について報告します。

2018年度決算

正味財産増減計算書

自2018年4月1日・至2019年3月31日（単位：円）			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,622,696	研修事業費	22,398,719
特定資産運用収入	38,100	啓発事業費	9,373,583
事業収入	5,715,974	管理費	3,575,511
寄附収入	21,973,628		
会費収入	2,953,500		
助成金収入	5,404,325		
受取利息・配当金	261		
災害救援寄附金収入	1,244,421		
雑収入	803,256		
経常収益計	43,756,161	経常費用計	35,347,813

役員（2019.6.～）

理事会

理事長	水野 雄二	（社福）神戸聖隷福祉事業団 理事長
理事	植松 賢治	神戸市 市長室国際部 部長
理事	太田 貞夫	（株）神戸新聞社 執行役員事業局長
理事	尾上 尚司	（公財）ひょうご子ども家庭福祉財団 常務理事
理事	滝澤 功治	神戸海都法律事務所 弁護士
理事	中村 尚義	（株）淡路第一商事 代表取締役
理事	丸尾 研一	（株）エムエスケイ 代表取締役
理事	水口 典久	兵庫県 産業労働部 国際局長
理事	安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
監事	飯田 健一	飯田会計事務所 公認会計士／税理士
監事	中川 寿子	生活協同組合コープこうべ 常勤理事

顧問

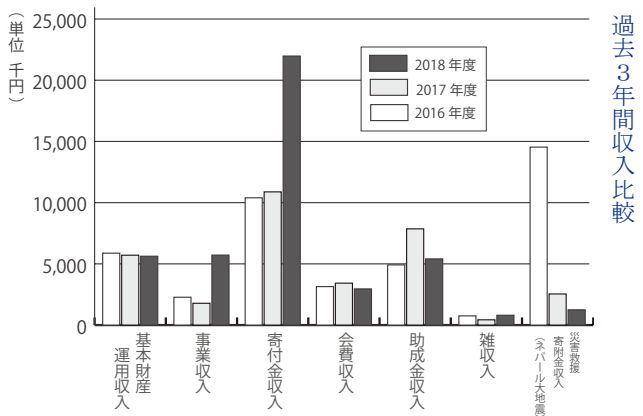
顧問	橋本 一豊	（株）神戸マツダ 代表取締役会長
評議員会		
井上 真二	（公財）神戸YMCA 総主事	
岩坂 二規	関西学院大学大学院 教育学研究科 准教授	
寒者 恵	三木市元職員 元保健師／保健衛生指導者	
寺田 正文	てらだ農園	
中尾 秀一	（公財）アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部 支部長代行	
納堂 邦弘	ミカタスイッチ（株）代表取締役／元PHD協会職員	
榛木 恵子	（社福）聖和共働福祉会 理事長	
前田 靖文	国際ロータリー第2680地区 米山記念奨学委員長	
宮田 泰子	（公財）神戸YWCA 理事	

運営協力委員

青島 一路	兵庫県連合自治会 事務局長
緋田 文江	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員長
伊勢田 佳博	（一社）兵庫県信用組合協会 常務理事兼事務局長
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会 会長
大西 巧	（一社）兵庫県信用金庫協会 常務理事
神吉 泰彦	高砂にPHD研修生を迎える会
北野 美智子	兵庫県連合婦人会 会長

貸借対照表 2019年3月31日現在 （単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	13,868,445	流動負債	1,298,332
固定資産	309,970,479	固定負債	2,625,075
（うち基本財産として 275,000,000）		正味財産	319,915,517
資産合計	323,838,924	負債及び正味財産合計	323,838,924



北村 悦伸	（社福）兵庫県社会福祉協議会 事務局長
後藤 象三	（一社）兵庫県医師会 事務局長
塩谷 元宏	兵庫県森林組合連合会 専務理事
白井 俊彦	兵庫県中学校長会 会長
高松 智美	（一社）兵庫県歯科医師会 総務部 総務企画課 課長
突々 淳	兵庫県漁業協同組合連合会 専務理事
中井 恵俐子	国際ソロプチミスト神戸 会長
中井 弘慈	（一社）兵庫県私学総連合会 事務局長
長沼 隆之	（株）神戸新聞社 報道部長
中村 晶平	兵庫県立学校長協会 会長
猶原 信男	ミャンマー関西 代表
仁井 重雄	兵庫県町村会 事務局長
西村 早百合	Group Taytay
伴 忠道	JOCV近畿地区兵庫県OB会 事務局長
平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事／産業部長
前川 義弘	兵庫県小学校長会 理事
南 喜樹	（一社）神戸銀行協会 専務理事
明星 頼子	（一社）ガールスカウト兵庫県連盟 書記
本山 秀治	（公財）兵庫県老人クラブ連合会 専務理事兼事務局長
森口 育子	兵庫県立大学 名誉教授
山崎 美和子	（一社）兵庫県薬剤師会 事務局長

2019年3月24日、理事として顧問として、長くPHD協会を支えてくださったライスヴァレーA.C.代表 米谷 収 顧問がご逝去されました。哀悼の意を表しますとともに、ご生前のご貢献に心から感謝申し上げます。PHD協会を愛してくださり、本当にありがとうございました。

助成金事業

平成30年度「NGO事業補助金」

NGOの事業実施能力や専門性の向上のため、NGOの事業促進に資する活動を支援する「国際開発協力関係民間公益団体補助金（NGO補助金）」を外務省国際協力局民間援助連携室から頂き、研修事業を行いました。

平成30年度「NGO相談員制度」

P.9「平成30年度外務省委嘱NGO相談員」をご参照ください。

平成30年度「NGOインターン・プログラム」

P.9「インターンと学生等の受け入れ」をご参照ください。

「愛のキャンパ 中央助成」日本労働組合総連合会

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的としている「愛のキャンパ 中央助成」より、PHD協会の研修事業へご支援をいただきました。

兵庫県婦人会館ユネスコ基金

国際感覚の豊かな青少年育成を目的として、PHD協会の事業へご支援をいただきました。このご支援のもと、2018年度国内研修生は「国際協力研修生」として、PHD研修生との交流及び研修を通じ、国際感覚を育みました。

平成29年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業

ITツール導入により、経営力の向上・強化を図ることを目的とした同事業の補助金が甲交付されました。この補助金により、リタワークス株式会社のクラウドサービス「コンダラント」を導入しています。

日蓮宗あんのん基金

民族や宗教、文化の違いを超え、最も有効な支援を届けるため、様々な社会活動・地域貢献・国際協力を行う団体や活動に支援を行う日蓮宗宗務院 伝道部様の「あんのん基金」より、PHD協会の研修事業へ支援をいただきました。

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水保賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井植文化賞
- 2013 かめのり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞



〒650-0003 神戸市中央区
山本通4-2-12
山手タワーズ601
TEL 078-414-7750
FAX 078-414-7611



事務局・スタッフ（2019.5.～）

事務局

	坂西 卓郎 主任主事 / 事務局長		山本 健太郎 主事補 / 研修担当
	八木 純二 主事補 / 広報・啓発担当		中村 朱里 嘱託職員 / 総務担当
	芳田 弓生希 嘱託職員 / 研修副担当		古寺 瑞代 嘱託職員 / 財務担当
	加藤 志歩 嘱託職員 / 広報・啓発担当		
	濱 宏子 嘱託職員 / 人事・米山奨学生担当		2018年度退職 高藤 真理 / 中西 美樹 川原 桂
	酒井 萌乃 嘱託職員 / ファンドレイジング担当		

ミャンマー現地スタッフ

	トウントウン 1994年度第12期生 / NGOヤンキン代表		
	モーママ 2013年度第31期生		サンティダエー 2015年度第33期生
	ティダチャー（マーチョ） 2016年度第34期生		

ネパール現地スタッフ

	ランマヤ・タマン 2012年度第30期生		ムク・マヤ・タマン 2014年度第32期生
	カンチ・マヤ・タマン 2015年度第33期生		

インドネシア現地スタッフ

	ダスウィル 1999年度第17期生		アルウィ ファドリ 2001年度第19期生
	ダルミアティス（ミミ） 2002年度第20期生		アフリタ 2004年度第22期生
	マスラル アリゾン 2005年度第23期生		ダリスマン 2013年度第31期生



2019.7.1700